千葉大学大学院(2023.12.16)

学校の国際化Ⅱ 一授業をつくる-

千葉大学移民難民スタディーズ他機関連携研究者 外国人児童生徒等教育相談員コーディネーター 仲江千鶴

本研修のねらい

学校の国際化を知り、児童生徒のよさを生かしていくための具体的な方法について検討することを通して「チーム学校」がなすべきことについて考える

これらを通して、外国につながる子どもや保護者に 対して柔軟な対応ができる教職員を目指す

日本人生徒と外国につながる生徒が一緒に授業を受ける際の授業づくりについて考える

目次

- 外国につながる生徒への支援体制
- 外国につながる生徒の言語活動の特徴
- 外国につながる生徒への学習指導
 - 日本語学習
 - 教科学習
 - 教科以外の学習
- 外国につながる生徒支援のポイント
- 学校の国際化(インクルーシブ教育)

外国につながる生徒への支援体制

日本語基礎担当教員 日本語指導員 日本語指導員 進路部·教務部 健康支援部

各分掌

外国につながる生徒支援委員会

- ・「見立てシート」の管理
- ・担任・教科担当との 連絡調整
- 職員研修会の立案
- ・外国につながる生徒に 関する相談窓口

外国人児童生徒等相談員支援 コーディネーター

- 支援計画の立案
- 教科指導への助言
- - 外国人児童生徒等教育相談員
- ・ 母語による生活相談 ・授業への入り込み指導
- ・ 保護者への通訳
- ・プリント等の翻訳

· 日本語指導

・ 進路指導への助言

学校設定科目

<u>「日本語基礎</u>

- · 日本語学習 (母語作文/日本語作文)
- ・ 他教科教員による授業
- ・ 千葉県高等学校定通総合 文化大会への参加
- 英語・日本語弁論大会への参加
- · JLPT受験への取組

- ・個に応じた指導
- 指導の工夫

教科担当

- 教材の工夫
- (配布プリント) (ルビ振り教材)
- (翻訳ツール)

学校生活全般の支援

担任

- 教育相談
- · 進路相談
- ・ 保護者との連携

日本語指導を必要とする生徒

外国につながる生徒

「校内支援体制」構築のためのポイント



教師への

アプローチ

生徒への

アプローチ

保護者への

アプローチ

支援体制が整っていくきっかけ 一教員の視点から現状を把握するためのアンケートを実施一

生徒が授業内容を理解できない

生徒が授業を理解しているか判断できない

生徒が授業に真面目に取り組まない

生徒の情報がほとんどなく手探り状態で対応

保護者と連絡がとりにくい

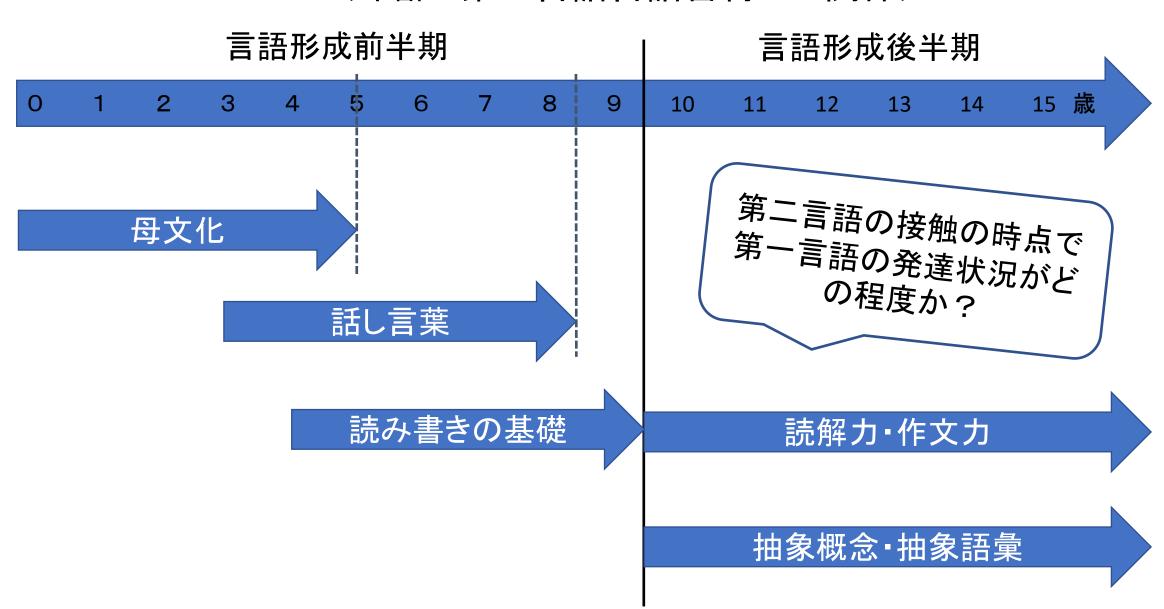
生徒「分からない言葉で、わからないことを教えられても、ついていけません」

日本語指導が必要な生徒の言語背景を理解するためのポイント

年齢と言語習得の関係

言語能力の 構造 言語活動の 4領域 相互依存仮説

〈年齢と第一言語言語習得との関係〉



中島和子(2010)『マルチ・リンガル教育への招待 言語資質としての外国人・日本人年少者』より転写

言語能力の構造

1. 会話の流暢度(Conversational Fluency:CF)

生活場面でのコミュニケーション能力

・買い物やおしゃべりなど、場面の支援があり具体的な行動と結びついている 言語活動

学校や周囲の環境を通して1~2年で習得が可能

2. 弁別的言語能力(Discrete Language Skills: DLS)

ルール化ができ個別に測定可能な言語技術

・ひらがな、カタカナ、漢字などの文字の習得や基本文型の習得など 個人のスキルにより<u>習得にかかる時間が異なる</u>

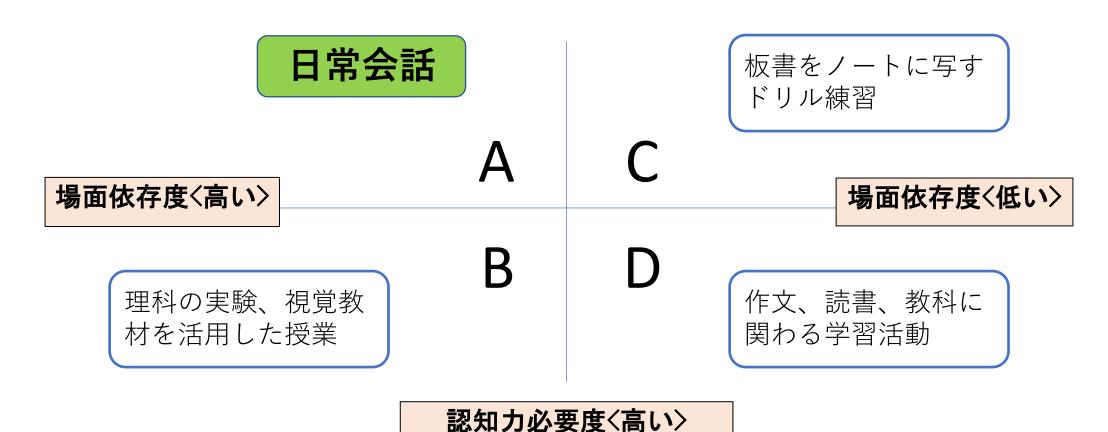
3. 教科学習言語能力(Academic Language Proficiency:ALP)

教科学習のための高度な認知的活動を支える能力

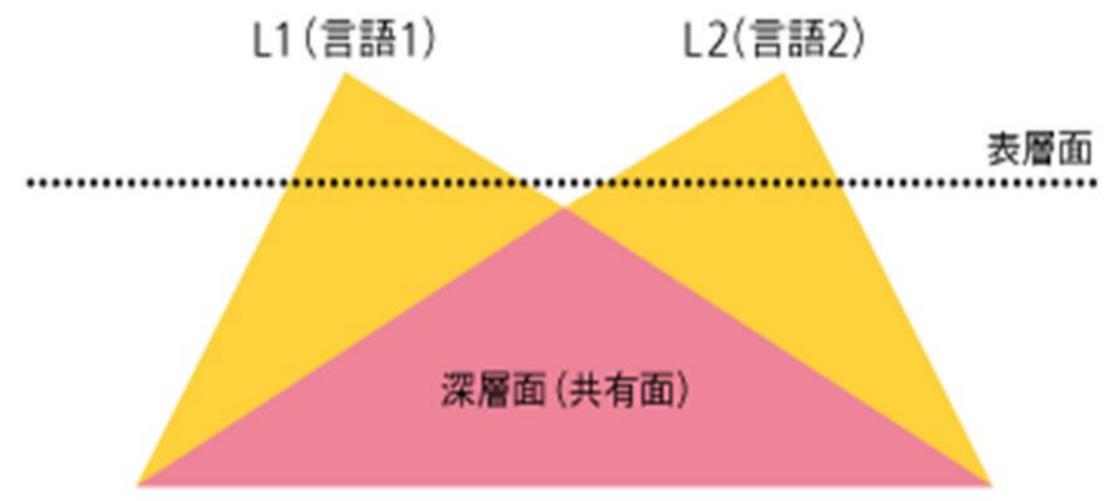
・読解や作文やプレゼンテーションなど 学年相当レベルに達するには<mark>習得に5~7年以上</mark>必要

言語活動の4領域

認知力必要度〈低い〉



共有規定能力モデル カミンズ2言語共有説(氷山説)



「2つの言語が互いに関係し合い、共通する能力を持っている」という考え方で、表層面では異なる2つの言語に見えるが、深層面では共通する言語能力の領域を持ち、共通する言語能力はどちらかの一方の言語によって高めることができると説明される。

外国につながる子どもの学習背景

「日本語ができない」だけ

⇒学習内容は母語では理解できる。

「母国でも勉強は苦手」

→日本語の問題だけではない。

「日本生まれ日本育ち」

→母語と日本語の関係は?



易しい日本語がポイント

- ☆<mark>敬語</mark>を使わない⇒特に、保護者面談など ☆説明は簡単に
- →やたらと複文は使用しない。単純明確に
- ☆「教科の語彙(学習用語)」と「それ以外の言葉」の区別
- ⇒学習用語はそのまま、それ以外はやさしい日本語へ置き換え。
- ☆指示は言い換えない
- ⇒「宿題は明日までに提出すること」 「宿題は明日出さないとダメだぞ。大変なことになるぞ。 |

外国につながる生徒への学習指導

インクルーシブ教育 との関連性

目的を明確にすることが大切

日本語学習

教科学習

授業外での 学習

授業で工夫していること 一教員アンケートより一

板書やテストでルビを振る

英語を使う

個別に指導する

イラストを使用してゆっくり話す

机間巡視の回数を増やす

同じ母語の生徒同士を近くにする

実践報告 一化学基礎一

「わからない言葉で、わからないことを教えられても ついていけません!」

学習項目

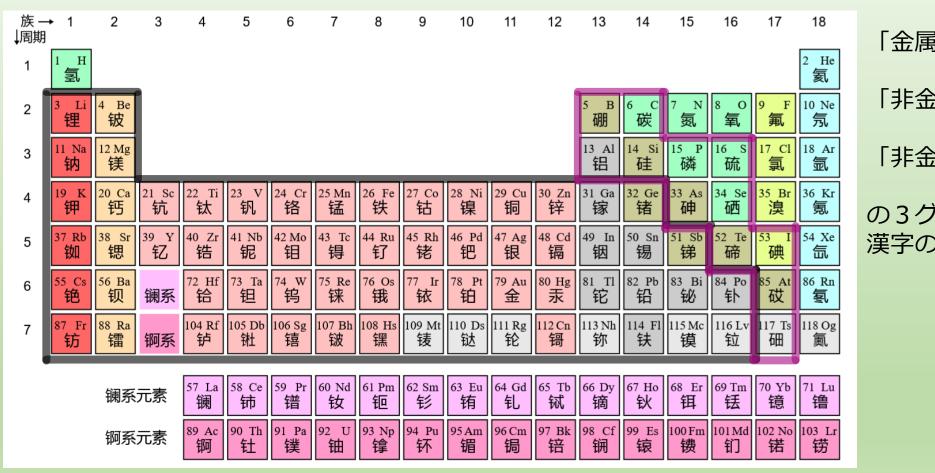
日本語の周期表、英語の周期表、中国語の周期表を 見比べて気づいたことを話し合おう

取組内容*周期表を3言語準備

- 〇周期表への理解を深める
- 〇元素が特徴ごとに数グループに分けられることに気づく

授業を多言語化すれば状況が改善するかも?

授業の多言語化の準備中に見つけた中国語の周期表



「金属元素」

「非金属元素(単体固体) |

「非金属元素(単体液体)」

の3グループにおいて、 漢字の部首が共通している

授業の振り返り

- 外国につながる生徒それぞれの母語版の周期表を用いただけで、 積極的に取り組む姿勢が見られた。
- ・日本語母語話者の生徒も多言語版の周期表に興味関心を持って 学んでいる姿が見られた。
- 日本語母語話者の生徒と外国につながる生徒の教え合いが見られた。特に、母語から日本語への変換が見られた。

実践報告 一地歷公民科一

学習項目

※特定の学習項目に限らず、受講期間を通して行った。

取組内容*プリントを3種類準備

- ①空欄穴埋めプリント(通常の授業で使用するもの)
- ②ルビ振りプリント
- ③空欄穴埋め済みプリント

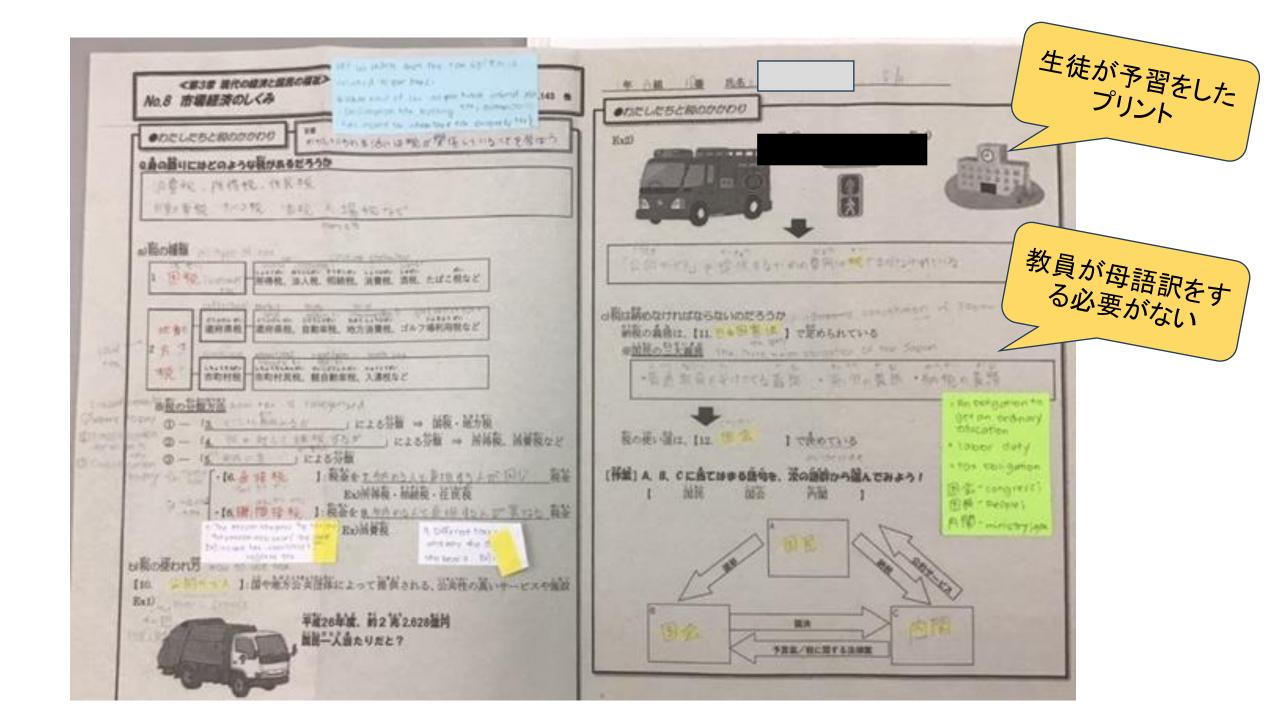
留意点

- 〇事前に授業プリントを配布する。
- 〇授業後に学習内容の要約文を配布

希望する生徒には 3セットを事前配布

現代社会 ルビふり済プリント

≪第3章 現代の経済と国民の福祉≫□ No.8 市場経済のしくみ ®p.134-137,142,143 他	<u>年組番氏名:</u> ###################################
●わたしたちと税のかかわり↓ 0.身の首 りにはどのような税があるだろうか↓	Ex2) Ex3) Ex4) Ex4)
a) 税の種類 Lize (*fin は 2 E A F A F A F A F A F A F A F A F A F A	↓ ↓ c) 税は続めなければならないのだろうか↓ 納税の義務は、【11. 】 で差められている↓
# 2 Lastatu	* <u>国民の学夫義</u> な。
① — 「 <u>3.</u> 」による分類 ⇒ 国税・地方税↓ ② — 「 <u>4.</u> 」による分類 ⇒ 所得税、消費税など↓ ③ — 「 <u>5.</u> 」による分類↓	型 税の使い道は、【12. 】で決めている↓ ↓



実践報告 一日本語基礎(生活科) 一

学習項目

災害が起こる前や災害時にどのように行動すべきか、またどのように して必要な情報を獲得し、それらを家族・親族と共有するのかを学ぶ

もくひょう

さいがい

じゅんび

かんが

目標

災害への準備を考えよう

まとめ

、よいです。

算数 小学校

12kmはなれている北山市と南田町の間を往復するのに、兄さんは行きは時速6kmで歩き、帰りは3kmで歩きました。お父さんは行きも帰りも同じ速さで歩き、往復にかかった時間は兄さんと同じでした。

兄さんは往復するのに何時間かかりましたか。また、 お父さんは時速何kmで歩きましたか。

算数の文章題を作り直してみよう

複文は単文に 図と記号で説明

日本語指導の場合

漢字に注目

- ○北•南⇒東西南北
- ○兄さん⇒兄・弟・姉・妹
- ○お父さん⇒お母さん•父•母•両 親
- ○歩く⇒走る
- ○山•田⇒川

教科指導の場合

内容重視

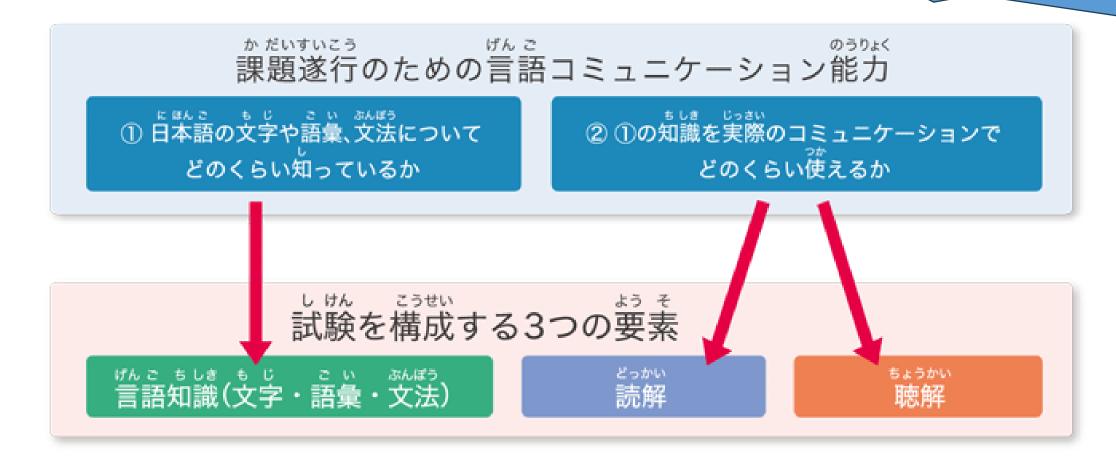
- ○往復⇒言葉の説明
- ○時速⇒概念の説明
- 〇キロメートル(km)
- ○何時間かかりましたか?
- 〇時速何kmで歩きましたか?

何を捨てるか! 何を残すか! 見極めが重要

【日本語の向上一日本語能力試験(JLPT)ー】

「日本語を母語としない人たちの 日本語能力を測定し認定する試験」

4月申込⇒7月試験 9月申込⇒12月試験



【日本語能力試験(JLPT)一目安】

N1:大学院入学程度

N2:大学入学程度、専門学校入学程度

N3:就職(製造業、介護職等)

N4:基本的な日本語を理解

N5:基本的な日本語をある程度理解

外国につながる生徒に対する支援のポイント

日本語指導をすればよい

言語力と学習力を同一視しない

- ・日本語指導と教科指導の区別
- ・言語能力と学年相当で学ぶべきことの区別
- ・生徒に応じた学習ポイントの整理
- ・何を捨てて何を残すか
- ・長期的視野に立ち、現時点で必要な指導の見極め

外部支援者との協力関係の構築

教員間での情報 の共有

日本語指導はできない

外国につながる子どもが日本で頑張れるために

- 母語を大切に(日本だから日本語だけはNG)
- 日本語以外の言葉を持っていることは素晴らしいこと
- 日本語が話せると日本語で勉強できるは違う
- 小さいときから日本で生活していても学校の勉強は難しい
- 「焦らなくていいよ。ゆっくり頑張ろう」と励まそう
- 家族で将来についてたくさん話そう



高校へ繋がる環境を そして、子どもたちが高校卒業資格を手に入れ 次のステップへ進めるような働きかけが必要



学校の国際化って!



<参考>

·東京出入国在留管理局 在留支援部門

「外国籍の中学生・高校生のみんなへ〜将来就職して働くために〜」 https://www.moj.go.jp/isa/content/001364781.pdf

·出入国在留管理庁

「『家族滞在』の在留資格をもって在留し、本邦で高等学校 卒業後に本邦での就労を希望する方へ」

https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/nyuukokukanri07_00122.html

・神奈川県行政書士会

「外国人の子どもの高校卒業後の『在留資格&進路』 フローチャート|

https://www.kana-gyosei.or.jp/wp2/img/5359c73b9f58f67524f429ab3e854ce0.pdf

・日本語能力試験

https://www.jlpt.jp/

〈参考資料〉

Cummins&Swain(1986)言語発達能力モデル

ジム・カミンズ著 中島和子著(2020)『言語マイノリティーを支える教育』慶應義塾大学出版会中島和子(2003/2010)[JHLの枠組みと課題-JSL/JFLとどう違うか」 『母語・継承語・バイリンガル教育研究会』プレ創刊号1-15引用

宮島喬(2014)『外国人の子どもの教育 就学の現状と教育を受ける権利』東京 大学出版会

文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況に関する調査www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/06/1386753.htm より引用

千葉県教育委員会「令和4年度 第1回帰国・外国人児童生徒等の日本語指導担当者連絡協議会」発表資料より引用